

平成26年度

市の予算

一般会計予算 358億円

特別会計を含めた予算の総額

619億8,903万円

元気・安心・

希望あふれる三島を

創造する積極型予算

平成26年度予算案が市議会2月定例会で可決され、一般会計予算は358億円で、前年度対比5.7%（19億2,900万円）増となりました。今年度、市が力を入れて取り組む主な事業をお知らせします。

問合せ 財政課（☎983-2622）



平成26年度施政方針

2月18日、市議会2月定例会において、豊岡市長が述べた平成26年度予算案の基本方針について概要を掲載します。

平成26年度は市長として任期4年目の節目の年となります。この間、三島市が発展し元気になり、市民の皆様が「三島で生まれて良かった、育って良かった、暮らして良かった」と、幸せを実感できる、誇れるまち三島を創りあげたいとの強い思いで市政に取り組んでまいりました。

【施策の基本方針】

- ①「ガーデンシティみしま（庭園都市みしま）」、「スマートウエルネスみしま（^{けんこう}健幸都市みしま）」を掲げ、富士山からの湧水と緑、歴史・文化という財産を最大限に活用し、美しく品格があり、市民もまちも産業もすべてが元気で健幸なにぎわいある都市を、市民との協働により実現することを目指しています。
- ②三島市の美しく魅力溢れるまちづくりを全国に発信することが重要と考え、情報提供ツールを総動員し、リアルタイムな発信に努めています。その成果として、市・内外の多くの方々から、「三島は元気がありますね」などの言葉をいただくようになり、「テレビで三島市のことを見たので来てみました」といった方々の増加にも繋がっていると考えます。
- ③市民と地域の絆をより一層深め、子育て支援、障がい者・高齢者施策、防災対策などの重要課題に取り組んでまいります。
- ④三島の発展を見据えた将来都市像「せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島～環境と食を大切に～」の実現を目指して、内陸のフロンティアを拓く取組、企業誘致、戦略的なシティプロモーション、都市計画街路などの都市基盤整備の推進を図ります。

【予算の基本方針】

「市民との協働で進める美しく品格あるガーデンシティの推進と快適で活力あふれるまちの創造」

「健幸日本一を目指すスマートウエルネスの推進と未来へ繋ぐ教育の向上・文化の充実」

「地域の絆で支えるコミュニティ福祉の推進とさらに安全・安心に暮らせるまちづくり」

この3つを予算編成の基本方針と定め、さまざまな市民ニーズに的確に対応し、きめ細かな行政サービスを提供するための経費と、三島市が未来に向けて力強く躍進し、さらに幸せを実感していただけるまちづくりに取り組む多くの新たな施策を平成26年度予算に盛り込んだところであります。

私はこの予算を「元気・安心・希望あふれる三島を創造する積極型予算」と考えております。

【健全な財政運営】

本市の財政状況は財政健全化判断比率において基準を大きく下回り、その健全性が示されていますが、今後は、公共施設の耐震補強事業にかかる借入金償還や、公共施設の長寿命化計画にのっとった改築・改修の推進、防災対策、年々増加する社会福祉関連経費など、多額の財政需要が見込まれます。その中で、財政の健全性を確保しつつ市民の安全・安心を最優先に、さまざまな課題に着実・的確に対応していくことが求められています。

歳入 歳入は、企業収益、個人所得、雇用環境などが回復傾向となっており、歳入の根幹をなす法人市民税、個人市民税などで増収を見込んでいます。

歳出 歳出は、少子・高齢化の進行や障がい者福祉などの社会保障関係経費をはじめ、子育て支援や教育環境の充実を図る経費などが年々増大しています。また、重点分野雇用創造事業や子育て理想郷ふじのくに地域モデル事業のような国や県の支援を受けて実施した事業は、その成果を踏まえ、内容を精査して多くの事業を継続することとしました。今後はさらに、最少の経費で最大の効果を目指して市民との協働により事業を推進する必要があります。

